

「廃棄について」 ～重要データの消去～

Part2: 従業員としての対策 — No. 18

導入



パソコンや記録媒体に保存され、不要になったデータは削除の機能を使って消去したと思っていても、実際には消去されてはならず、復元ツールなどを使って取り出すことが可能なことはご存知ですか？

導入



正しく廃棄しなかったために重要な情報が外部に漏洩(ろうえい)する可能性があるのです。

導入



不要になったパソコン・記録媒体の廃棄については、どのようにすれば良いのか、考えてみましょう。

事例

A man with dark hair, wearing a dark suit, white shirt, and a pink striped tie, is smiling broadly while opening a cardboard box. He is in an office setting with a desk, a computer monitor, and various office supplies visible. A speech bubble is positioned over him, containing Japanese text.

いやあ、やっぱり新しいパソコンって良いよな。
性能が高いから、どんどん仕事がすすむよ。

事例

あれ？変な顔して、どうかしたの？



事例

ウン。私のメールに、
知らない会社から
新製品の案内が来てるの。

知らない会社からメールが？
そんなこと、あるのかい。

事例

ちょっと待って。
あれ？僕のメールにも…。
これもやっぱり、新製品の案内だって。

どういふことなの、これ。

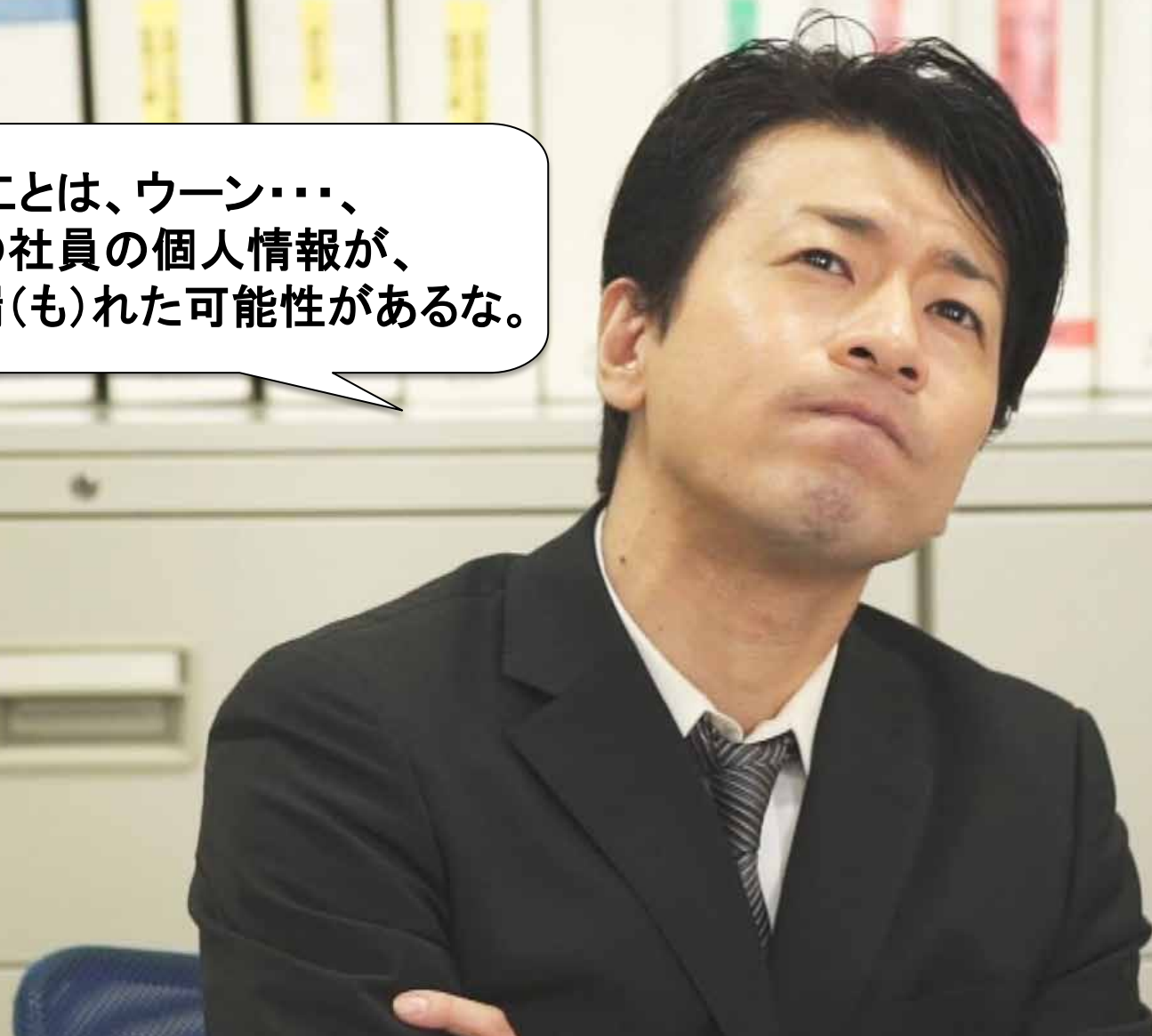
事例

君達にも来てたのか。

名取さんのところにもですか？ひょっとして、
会社の全員に来てるんじゃないかな。

事例

ということは、ウーン…、
会社の社員の個人情報、
外に漏(も)れた可能性があるな。



事例

でも当社の社員の個人情報、
どうして外部に漏れたんだろう。

そうですね。データの管理は、
ちゃんとしてるし、使わなくなったデータも、
きちんと削除してますからね。

事例

そうか！！
ひょっとして。



事例

名取さん！新しいパソコンが来たので、
今まで使ってた古いパソコン、
廃棄ブースに移動します。

1カ月前。

事例

はい。大丈夫です。

ちゃんと、データを消しといたか。
残したまま捨てるとまずいゾ。

事例

あれだ。あの時、原田さんが
廃棄したパソコンから社員の
個人情報が漏(も)れたんだ。

えー！！そんなことはありませんよ。
だってすべてのフォルダは削除したし、
最後にハードディスクのフォーマットまで
しておいたんですから。

事例

確かに、削除やフォーマットで、
見た目は、ファイルが
消えてるように見えるが、
実際には残っている。
復元ソフトを使えば再現も可能だ。

そんなあ・・・。

事例

ただ単に、削除やフォーマットするだけじゃダメ、ってことですね。

ウウウ・・・。



学習の意図



不要になったパソコンや外付けハードディスクなどを廃棄する場合、データをゴミ箱に捨てたり、ディスクのフォーマットをしてるだけではないですか？

学習の意図



表面上はデータが消去されているように見えますが、実際にはデータを復元することが可能なのです。不要になった電子データや、パソコンのハードディスクは、どのように扱えば良いのか、考えてみましょう。

学習の意図

「重要データの消去方法」について、以下を学習しましょう。

1. 専用の消去ソフトでのデータ消去
2. 書類やCD、DVDなどの記録媒体の廃棄処分

正しい対処法



紙書類と同様に、積算や検査報告書、設計図書、建築確認書類などパソコンを使って作成された電子データは、一定期間保存しておくものと、使用後に廃棄するものの区別が、会社の規則で決まっているはず。

正しい対処法



そのルールにしたがって、消去の処理を行うことが大切です。

正しい対処法



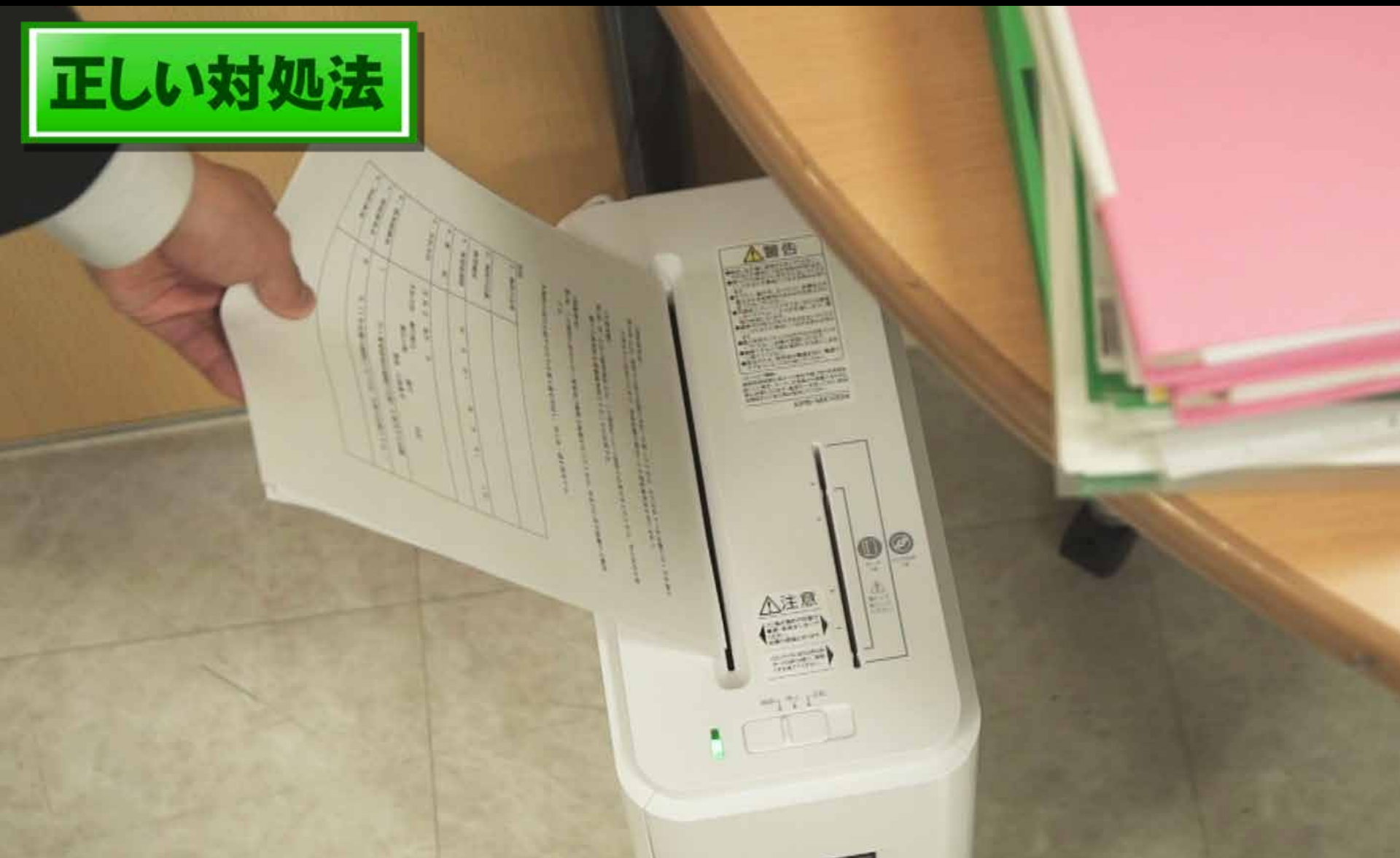
その中には、パソコンの機能を使った消去ではなく、完全に消すことが求められるものもあるので、消去ソフトを使って、パソコンや、その他の記録媒体から、完全に消去するようにします。

正しい対処法



一方、不要となったパソコンを廃棄処分にする場合も、廃棄する前にきちんと消去ソフトを使ってデータを消し、メーカーが行なっている廃棄処分のサービスも利用するようにしましょう。データの消去も不完全なまま、産業廃棄物として捨てないように気をつける必要があります。

正しい対処法



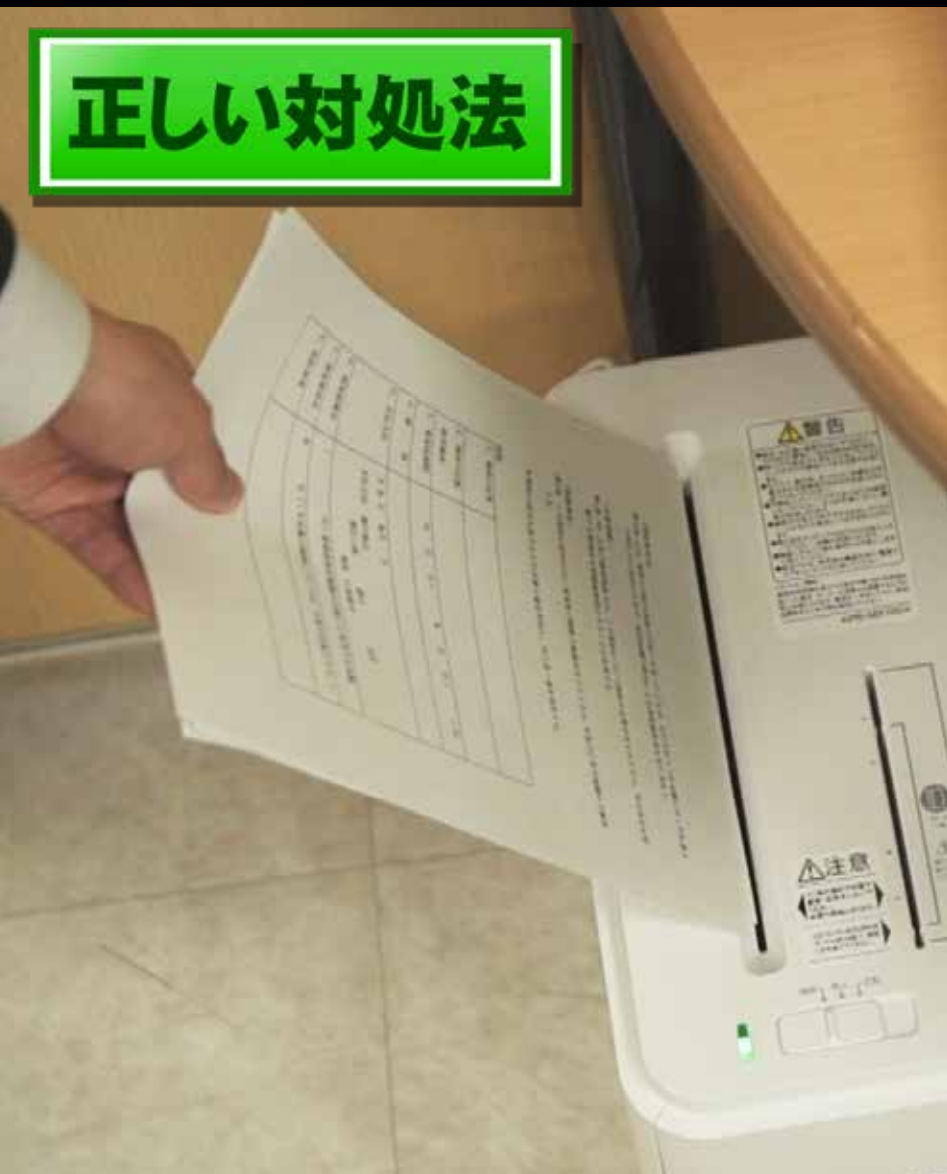
廃棄すべきと決まった書類は、そのままゴミ箱に捨てたり、会議資料のコピー用紙などに利用せずに、必ずシュレッダーにかけ。細かく粉碎（ふんさい）して処分しましょう。

正しい対処法



また、電子データを記録したCDやDVDなどから情報が漏(も)れることもあるので、これらについてもレーベル面を破損させ、記録が読みとれないようにしておきましょう。

正しい対処法



廃棄処分のパソコンや使用済みの書類、記録媒体から、情報が漏(も)れる可能性があることを理解してください。

確認テスト 問題

No.18 廃棄について ～重要データの消去～

Q1

次のことが、正しいかどうかを答えなさい。

『データはごみ箱に捨て、ディスクをフォーマット化し、念のため画面上でデータが残っていないかを確認した後、廃棄処分した。』

選択肢	
	1. 正しい
	2. 誤り


次のページで正解と
解説を確認しましょう

確認テスト 正解と解説

Q1

次のことが、正しいかどうかを答えなさい。

『データはごみ箱に捨て、ディスクをフォーマット化し、念のため画面上でデータが残っていないかを確認した後、廃棄処分した。』

正解	選択肢
	1. 正しい
	2. 誤り

【解説】

データをごみ箱フォルダへ捨てる、ディスクのフォーマット、といった作業では画面上はデータが消去されているように見えますが、復元ツールなどを使用することによって取り出すことが可能です。専用の消去ソフトを使うなどして、完全にデータを消去してから廃棄するようにしましょう。

確認テスト 問題

No.18 廃棄について ～重要データの消去～

Q2

次のことが、正しいかどうかを答えなさい。

『CDやDVDなどの記録媒体に重要情報を保存していたが、情報が古くなったのでそのままごみ箱に捨てた。』

選択肢	
	1. 正しい
	2. 誤り

次のページで正解と
解説を確認しましょう

確認テスト 正解と解説

Q2

次のことが、正しいかどうかを答えなさい。

『CDやDVDなどの記録媒体に重要情報を保存していたが、情報が古くなったのでそのままごみ箱に捨てた。』

正解	選択肢
	1. 正しい
●	2. 誤り

【解説】

自分にとっては古くなった情報でも、万一、他人の手に渡ってしまった場合のことも考え、読み込みができないように専用のメディアシュレッダーを使うなどしてレーベル面を破損させ、記録を読み取れないようにする必要があります。